

質問1

参加仕様書_7 企画提案書等の提出_(4)提出資料及び部数_ア 企画提案書に記載の「原則A4両面(中略)ページ数は15ページ以内」については、表紙を除きページ番号1-15 を記載し、A4両面で 8 枚以内(表紙および本文 15 ページ以内)という理解でよろしいでしょうか。また A4用紙の使い方は、横置き・縦置きどちらも可能という理解でよろしいでしょうか。

回答1

表紙を含め計 15 ページ以内(A4 用紙 8 枚以内)となります。なお、第2次審査(プレゼンテーション審査)での資料投影時の視認性から横置きを推奨します。

質問2

参加仕様書_7 企画提案書等の提出_(4)提出資料及び部数_エ その他提案にかかる参考資料については、枚数制限なし、という理解でよろしいでしょうか。また例えばアに過去の受託実績の知見を記載した場合、具体的な受託実績については「エ その他提案にかかる参考資料」として提出するなど、アに記載の内容に関する参考資料を添付するという理解でよろしいでしょうか。

回答2

参考資料の枚数に制限はございません。ご提案の通り、企画提案書内には過去の受託実績の概要を記載し、具体的な詳細や補足については参考資料として提出いただくことは可能です。

質問3

参加仕様書_9 最優秀提案者に提出を求める資料の内容_(3)に記載の「過去3年の間に当該契約と規模をほぼ同じくする契約を締結し、当該契約を履行した実績の有無を示す証明書」とは、具体的にどのような様式で提出することで、証明書として受理いただけますでしょうか。

回答3

過去に実施した類似業務の実績報告書や、契約書の写し等を想定しています。ただし、履行期間中のものは除きます。

質問4 業務仕様書_4 業務概要_(1) 業務内容_ア 参加者の募集_(オ)に記載の「募集に使用するツール」について、具体的にはどのようなツールを想定されていますでしょうか。たとえば Peatix は利用可能でしょうか。

回答 4

Peatix 等の外部ツールの利用は可能です。ただし、県が保有する Web サイト (<https://tokowaka-reborn.pref.mie.lg.jp/>) との連携や、個人情報の適切な管理が図られていることが前提となります。具体的なツールの選定にあたっては、業務仕様書に基づき、企画段階で県と協議し、承諾を得るものとします。

質問5 インキュベーションプログラムとアクセラレーションプログラムの各プログラムでの参加者が、プログラム終了時にどのような状態になっていることを理想とされているのか、より具体的なイメージがあれば教えてください。(特にアクセラレーションプログラムは、事業成長や資金調達の規模感など)

回答5

インキュベーションプログラムでは、事業仮説の構築や顧客課題の明確化、ビジネスモデルの形成等、創業初期段階に必要な準備が整った状態を目指します。一方、アクセラレーションプログラムでは、事業の成長加速、協業機会の創出、資金調達等、事業拡大に向けた具体的な成果が得られている状態を理想としています。